

## 4月の授業記録をお送りいたします。

薫風の候——ご父母各位におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

今年の大連休は比較的穏やかな晴天に恵まれ、文字通り「行楽日和」の1週間となりました。

どこか遠くへお出かけになったり、日頃の生活ではなかなかできないことを思い切って実行してみたり…と、東の間の非日常を愉しまれた塾生も多かったのではないのでしょうか。

当塾も1週間ほどお休みをいただきまして、講師一同十分に骨休めをさせていただきました。

文字通り心身ともにリフレッシュしてまいりましたので、さしあたっては多くの中学校で今月末に行われる「1学期・中間試験」へ向け、1人1人のお子さんに責任を持って〈よりわかりやすく親身な指導〉を行ってまいりたいと存じます。



当塾では平素からご案内のように、通常の授業はもとより、「中学生対象・土曜無料補講」や定期試験1週間前から連日実施される「定期試験対策」「北辰テスト対策」など充実した各種講座、さらにいつでも使用可能な自習スペースをご用意しておりますので、お子様の家庭学習がはかどっていない場合は、ぜひ積極的に当塾へ入室させてください。

### ■今月のお知らせ■

#### ① これから多くの中学校で「1学期・中間試験」が行われます。

所沢市の多くの中学校では、5月後半から6月上旬にかけて「1学期・中間試験」が行われます。試験1週間前から各教室で「定期試験対策」を実施しますので、ぜひ積極的に参加してください。

#### ② 6月17日(日)「第2回 北辰テスト」のお申し込み期間。

6月17日(日)に行われる「中3生対象 第2回 北辰テスト」をお申し込みの場合は、5月17日(木)～5月25日(金)の間に、受験料4600円を添えてお申し込みください。

## 教室ブログ、更新中！

3月26日(月)より個別指導会のブログをスタートして、早1か月が過ぎました！在塾生ならびにご父母にとって有益な情報を種々ご提供できるようなツールを目指してまいりますので、引き続きぜひご覧ください！！

※個別指導会のHPアドレス <http://www.kobetsushidoukai.jp/> もしくは **個別指導会** で検索

※校舎毎のアドレスは各教室までお問い合わせください(上記HP上のリンクからも入れます)

## 学習のアドバイス

今回のテーマは、理科の「実験問題」です。

理科が苦手な生徒にその理由を聞いてみると、「実験は好きだけど、なぜかテストで点が取れない」という答えが返ってきます。これは考えてみれば当たり前です。

なぜなら、テストに出てくる実験は必ずしも実際に自分が行った実験ではないからです。かといって、すべての実験を体験することはできません。

では、どのようにこの問題を克服すればいいのでしょうか。

それには実験の本来の目的を思い出す必要があります。

そもそも実験とは“ある仮説が正しいかどうかを検証する”ために行うものです。

科学者が、漠然と実験を行うことは絶対にありません。必ず何らかの目的があります。

理科が苦手な人は、自分でその結果がどうなるのか予想せずにただ何となく実験をしているため、自分の経験がテストに活かせず得点にむずびつかないのです。

ですから、実験をする前には自分なりの仮説を立てるよう心掛けてほしいのですが、仮説を立てるにはその土台となる最低限の知識は必要になります。それは実験の前に教科書をよく読んで身に付けておきましょう。

また、“すべての実験を体験することはできません”と言いましたが、疑似体験なら可能です。テストによく出てくる実験の映像は、インターネットの動画サイトでほとんど見ることができますので、興味がある人は時間があるときに見てみてください。

以上が「実験問題」を克服する最重要ポイントですが、さらに知っておいてほしいことがあります。

それは、「実験問題には記述問題が付き物である」ということです。

これには2つのタイプがあります。

1つ目は「実験を効率よく行うための操作と目的」です。

光合成の実験での「色の変化を見やすくするために葉を温めたエタノールにひたす」などがこれにあたります。

2つ目は「安全に実験を行うための操作と目的」です。

炭酸水素ナトリウムの分解の実験での「試験管が割れないように試験管の底を少し上げて加熱する」などが例として挙げられます。よく出るものは覚えてしまいましょう！



## 平成30年度入試を振り返って ②

前回は県立高校入試の倍率について分析しましたが、いかがでしたでしょうか。今回は県内私立高校の応募状況について分析してみたいと思います。

埼玉県の場合、これまでも就学支援金に加えて県独自の手厚い学費補助がありました。平成29年度からは授業料に対する補助が増額され、授業料が実質無償化される対象が広がりました。平成30年度はさらに無償化の対象が広がる予定です。県内平均授業料の上昇に伴って補助金も引き上げられます。また、経済的な面だけでなく、大学合格実績の向上や奨学金制度の拡充など学習面も充実してきているため、私立高校に対する注目度は確実に上がってきています。

近隣の私立高校で応募者数の増加が顕著だったのは前年度応募者が減少した浦和麗明高校と秀明英光高校ですが、浦和麗明については共学化により叡明高校から流れてきた模様です。秀明英光は前年度がほぼ全入だったため人気が上がりました。また、減多にないことですが、星野高校は応募者数が予想を大幅に上回りそうだったため、途中で推薦基準がやや厳しくなりました。その他の高校についてはほぼ前年並みでしたが、推薦基準の変更やコース再編は応募者数の増減に直結しますので、志望校だけではなく競合校の状況にも注目してください。

## 教室長日記

### みなさんの「夢」は、何ですか？



突然ですが、皆さんに「夢」はありますか？

ある調査によると「夢」があるのは、小学生で5割、中学生で4割、高校生で6割とのこと。

この調査結果をみて私自身の感想としては、みなさんすごいなと思いました。

そこで、今回は今学習している勉強との関係について考えてみました。

よく、なぜ学習するのかという質問を生徒さんから受けます。

結論としては、自分の「夢」の実現を直接的にも間接的にも果たすために、小学校・中学校、そして高校、大学と学習するものではないかと考えます。

将来、会社に勤める場合の採用試験に合格するために勉強が必要であると思いますし、会社の入社試験に直接結びつかなくても、社会の問題にぶつかった時にそれを突破する手段としてそれまで学習してきたことが生きる場合もあると思います。

是非、個別指導会の塾生の皆さんも日々の学習を行う際に物事の本質を捉え、その本質がどのような論理で結びついているのか、また、他の分野との関連性は無いのかを意識して学習してみてもいいのでしょうか。新たな知的発見が生まれて、きっと知的好奇心を満たすことがあると思います。

人生をマラソンにたとえて、生涯学習という言葉も最近、耳にすることがあります。私自身、塾生の皆さんの「夢」の実現に寄与出来る「学習面のよき伴走者」でありたいと思っています。

(西所沢校 北村)